

クロス集計表の作成とエクセルでのグラフ化

社会学部 村瀬 洋一

1. パソコンのドライブの構成を理解する

デスクトップ上で、マイコンピューターをダブルクリックして、A、Cドライブなどがあることを確認する。多くの場合、3.5インチフロッピーがAドライブとなっていることを、まず理解する。立教では、Hドライブ（ホームディレクトリ）が自分のハードディスク。

2. クロス集計表の作成

SPSSでのクロス集計表は簡単だが、SPSS出力の表は分かりにくい。以下のような横線のみの形式（学術的な表形式）で、表中に縦%のみを書いた表を作成することが重要。

	男性	女性
そう思う	14	8
どちらかといえばそう思う	31	24
どちらかといえばそう思わない	34	46
そう思わない	11	22
合計	100	100
(人数)	(458)	(525)

注 数字は架空の例

縦%のみの表を作ると分かりやすい。表中には人数を書かず合計人数のみを書く！

- ・エクセルで列の幅がせまいと、字が表示されず####と出る。その時は、画面上方の a b c d などとセル番地の名前が書いてあるところにマウスを合わせ引っ張り、列幅を広げる。
- ・調査結果の有効桁は2桁でよい。26.28%でなく26%と書く。エクセルでの有効桁の設定は、数字を選択して画面上の「書式」をクリック セル 表示形式 ユーザー定義

3. クロス集計結果のグラフの作成

クロス集計表をグラフ化すると、より説得力がある。まず、分析結果をエクセルに入力する。SPSSの結果のコピーしたい部分をマウスで選んでCTRL+Cを押し、エクセル画面に移ってCTRL+Vを押せばよい（あるいはSPSS出力をエクセル形式でエクスポートする）。

そして、不要な情報や空白を削除して以下のように%のみの表を作り、A2からC6までのセルをマウスで囲み、グラフボタンを押し（あるいは画面上の「挿入」をクリックしてグラフ）、適切な形式のグラフを選べば、グラフができる。まずはクロス表をもとに、2次元の横棒グラフを作ってみる。3次元グラフは読み手に分かりにくいので使わないこと。

	A	B	C	D	E
1					
2		男性	女性		
3	そう思う		15	11	賛成の合計
4	どちらかといえばそう思う		53	39	= B3+B4
5	どちらかといえばそう思わない		27	38	
6	そう思わない		6	11	
7					
8		注 数字は架空の例			

グラフ作成時に、どの範囲をマウスで囲むかを理解すれば簡単！

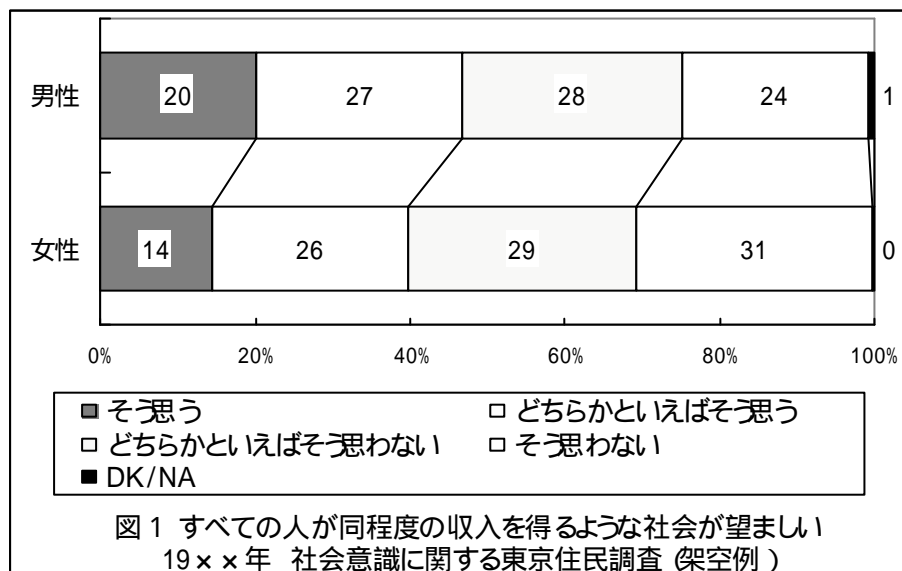
4.適切なグラフ形式の例（数字は架空例）

図のみを見て、第三者が内容を理解できるように作ることが大原則である。まずは、以下のような形式のグラフを作ればよい。とくに次の点に注意すること。

- ・必ず図タイトルと図番号をつけ、どのようなデータを用いたかなどを詳しく書く。普通、図タイトルは下、表タイトルは上につける。
- ・調査結果の場合、質問文などを、タイトルで明確に書く。
- ・模様は白黒印刷時に分かりやすいように変更する。グラフの模様部分を右クリックして変更すればよい。黄色等は印刷時に消えるので注意。
- ・グラフ内の字は、できるだけ大きく。字のフォントが小さいと、とても見にくい。
- ・エクセルのグラフ背景は白にする。灰色のままだと印刷時に見にくい。

グラフ全体を選択して右クリック グラフエリアの書式設定 領域を白に

2 重クロス集計表をグラフ化した例



3 重クロス集計表をグラフ化した例（賛成の合計の数字を出してからグラフ化）

